

---

# 異世界の戦士

創作人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

異世界の戦士

### 【Nコード】

N2165F

### 【作者名】

創作人

### 【あらすじ】

地上最強と呼ばれた男が魔法の世界に迷い込んだ果たして彼はどうするのか？

## 序章（前書き）

主人公が強いです

英語はこちらで勝手な読みをつけたります

それでも良いと言つ方のみ読んで下さい

## 序章

かつて一斉を風靡した格闘技チャンピオンがいた

両腕を基本とした様々な技で格闘技界を制覇したチャンピオンが

彼は制覇した後すぐに引退し戦場へと赴いた

そこで彼は伝説を作り上げた

曰く、素手で戦車を撃破した

曰く、一人で百を超える兵士を倒した

曰く、銃弾を受けても戦い続けた

曰く、一人も殺さなかった

故に彼はこう呼ばれた

地上最強の戦士、と

## 異世界の戦士1

男が一人小高き丘に立つ

前方には幾多の兵士が銃火器を持って迫り来る

男の体は既にぼろ雑巾の様であり、血を止めどなく流していた

「ここで…終わり…かもな…」

途切れ途切れに一言呟くと前に進み出す

最早進んでいるかもわからないがそんなものは関係ない

何故かって？だってこれは只の意地だから

どうせ死ぬのならば戦う事しか出来なくなつた哀れな者達の目を少しでも覚まして上げよう

そんなたつた一つの意地

だがそれすらもこの体では叶わない兵士の持つ銃の射程距離に入るこちらには打つ手は無く、只黙ってポケットに手を入れお守りに触れる

幼少期によく遊んでくれた叔父さんからもらった鍵の形をした碧色の宝石

「これはね一度だけ別の世界に行ける魔法の鍵なんだよ」

死の間際だからだろうこんな事を思い出すのは

今でもハッキリ覚えている

「別の世界に行くには鍵を持ってこう言うんだ…」

「open the future（未来よ開け）」

男の体を淡い碧色の光が包み込む

兵士達により銃弾を打ち込まれるが光に触れると消え去る

「本当…だったのか」

男の体から傷が消えてゆく

手に持っていた鍵が崩れ、一際大きな光が男を包む

「あっ！」それが男の声だったのか兵士の声だったのかはわからない  
只一つ言える事は、この世界から男の存在が消え去つた事だけであ

る

今回の登場魔法

open the future（未来よ開け）

一度だけ別世界へと続く道を作り上げる

込められた魔力によって主人公の傷は治った

タイプは移動系である

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2165f/>

---

異世界の戦士

2010年10月10日06時13分発行